事業番号	09 06 18 事業改善シート(28年度実施事業分) □予算				口当初予算案	☑ □補正予算案 ■点検
事業名	担い手育成総合支援事業				部局	農政部
尹 禾 石		担()于肖风総合文族争耒			課∙局∙室	農村振興課
₩ ^ - ! .	プロジェクト			当課	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp
総合5か 年計画	施策の総合的風	1-3 夢に挑戦する農業				
THIE	旭州の総合印度	1 夢ある農業を実践する経営体の育成		9	実施期間	H19 ~
人口定着・	信州創生の基本方	針 3-3 活力と循環の信州経済の創出				
確かな暮		3-(1) 経済構造の転換				
らし実現	施策展開	ア 県内産業の競争力強化				
総合戦略		(ウ) 農業の競争力強化				
1 事業の概要						

地域農業の中心となって効率的・安定的な農業経営を展開する認定農業者等意欲ある担い手や地域農業を支える活力ある集落営農組織 目指す姿 の確保・育成を目指すとともに、それら担い手等の経営改善や経営発展を促進する。

現状

農業生産を担う基幹的農業従事者の高齢化(65歳以上が69%)による離農、規模縮小とともに農家数も減少傾向にあるため、地域農業の (予算編成 農業生産を担り基料的展表にずるショウロ いっぱい とのである。 担い手の確保・育成と農地の利用集積が重要な課題となっている。

県が関与 する理由

成果目標· 事業内容 県関与の必要性あり

【左記の説明、根拠法令等】

高い技術と経営力を備えた意欲ある担い手の確保・育成が喫緊の課題であるため。 地域営農基盤強化総合対策事業補助金交付要綱

県民との協働による実施: 実施は困難

① 成果目標(H28)

○農業法人数 885法人 集落営農組織数 260組織 (設定理由:第2期長野県食と農業農村振興計画に位置付けたH29目標値と現況値の中間値、及び当該目標値を越えた指標につい ては直近の平均増加数を加算)

2						単位:千円)
	1百日 宝梅士法		U28東業宝績	Н	28	H29
	項目	天旭 カ 伝	1120 学未大順	() [()	(\L AA \	(\ \

項目		実施方法	i方法 H28事業実績		H28		H29
	大月 大月 大月				(当初)	(決算)	(当初)
	担い手育成総合支援事業	補助金	(補助先:長野県農業再生協議会) ・認定農業者の経営能力向上・改善指導 ・経営改善指導専門家の設置		10,450	9,310	9,668
		委託費	(委託先:長野県農業再生協議会) ・農業経営体の法人化推進		0	870	782
				合計	10,450	10,180	10,450

	≥	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度
	_	前年度繰越				
	予算	当初予算		10,450	10,450	10,450
事	額	補正予算				
業			合計(A)	10,450	10,450	10,450
*			一般財源	10,450	9,880	9,668
⊐	Aσ,	県 債				
7	財》	亰	国庫支出金		570	782
^			その他	0	0	0
۲	決	: 算 額(B)		11,417	10,180	
	概		職員数(人)	0.30	0.30	0.30
	人件費		概算人件費 (C)	2,483	2,374	2,374
	概算事業費(B(A)+C)		12,933	12,824	12,824	

成果目標の達成状況								
項目	H26末	H27末		H29				
72.0	1120/	1121	目標	成果	達成状況	目標		
農業法人数	855法人	876法人	885法人	918法人	達成	900法人		
集落営農組織数	249組織 286組織		260組織	327組織	達成	280組織		

目標に対 する成果 の状況

農業法人数は目標を達成するとともに、第2期食農計画の目標年であるH29年の数値(900法人)を上回った。 集落営農組織数は、成果目標を達成するとともに、第2期食と農業農村計画の目標値(280組織)を上回った。 H29目標は引き続き第2期食農計画の数値を設定した。

2 今後の事業の方向性

	今後、事	□ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	■ 事業を現行どおり実施
	業をどの			
Ì	0.6/20.	本事業の継続により、地域	農業を支える効率的・安定的な	は農業経営体をの確保・育成に引き続き取り組む。
ŀ	か			